

## 報 告

## キッズフェスタ 気になる出展

河合 俊宏<sup>1), 2)</sup>

- 1) (一社)日本リハビリテーション工学協会 代表理事(会長)
- 2) 埼玉県総合リハビリテーションセンター 福祉局相談部身体障害担当

## 1. はじめに

業務ではCOVID-19対応で保健所応援が決まっていながら、緊急事態宣言終了というタイミングで、都内大田区で開催されたキッズフェスタに参加した。

私個人的には、いつもながらの「アンダー18」で、いろいろと想う方、議論しないといけない方との春の定期交流戦開幕であり、今年も会わないといけないな、という使命感は相変わらずありました。

また単純に対面でのイベントということで、経営に関して進化した新代表取締役社長、想うところあっての起業者、そして業界に新規参入された会社担当者に会うことを目標としました。

ここ2年は、こちらの退化がかなりあり、昔ながらの電話とメールでやりとりさせていただいているだけに、多くの方と再会し、新規のご挨拶が出来たことは、ありがたいことでした。

## 2. 感染症対策

これまでの会場と同じ開催場所ということで、正直心配していましたが、換気に関しては十分な考慮がされていたように感じました。

今までのような臭気が少なかったと、知り合い数人からも言われました。私だけの感じではないなというところです。

ある意味、生活環境臭として、我慢という選択肢しか無かった社会環境が、換気一つで改善されたといつてもよい変化でした。臭気対策機器開発をしていた私としては、本当に止めを刺された事実の一つになりました。残念・無念。

各ブースでも、体験に対してのアルコールふき取り

を随所でみることが出来ました。これまでの病院内での当然が、地域や自宅といった生活の場に久しぶりに介入してきたと思いました。

(公衆)衛生学というと、妙な反発をするきらいの集団が居ますが、科学的根拠に基づき、判断し、行動するために、よりリハビリテーション工学が関与できる時代が、また訪れたとも考えられます。

## 3. 機器紹介

アンダー18には異質な、でも実は本質的な機器・仕組みの展示を紹介します。

AAC(拡大・代替コミュニケーション)の範疇ですが、日本とは制度の考え方の違う外国製品です。

患者や家族の多くは、残念ながら科学的な支援が届く前に、ヤサシイ顔をしたリスクと直面しています。ある方は直ぐに気がつけますが、ある方はその見せかけの善意にあえて乗ったりもします。また多くの方は、判断を忘れて、ただただ信じ込みます。今回展示されていた、ニューロノード トリロジー、どう感じられたでしょうか?

そもそも広告塔が?とか、パッケージになっての接続性が?と、否定から入る評価は簡単だと思います。現状の国内制度で、包含できるかというと、いくつかの課題が直ぐに出てきます。

だからこそ、私は未来につながる可能性があると感じています。生理学由来の筋電図計測であることを明記し、IoT技術を、上手く転用しているのではないかと思わされています。

まだ手に入れていないので、真偽???は決めつけられませんが、機会があれば、使っていきたいと思わせるシステムです。

以下のURLで、情報発信を継続されています。

是非、アクセスしてみてください。

<https://controlbionics.co.jp>

1) <mailto:ret.kawai+RESJAPREJ@gmail.com>

2) <mailto:ret.kawai+RESJA2022J08@gmail.com>